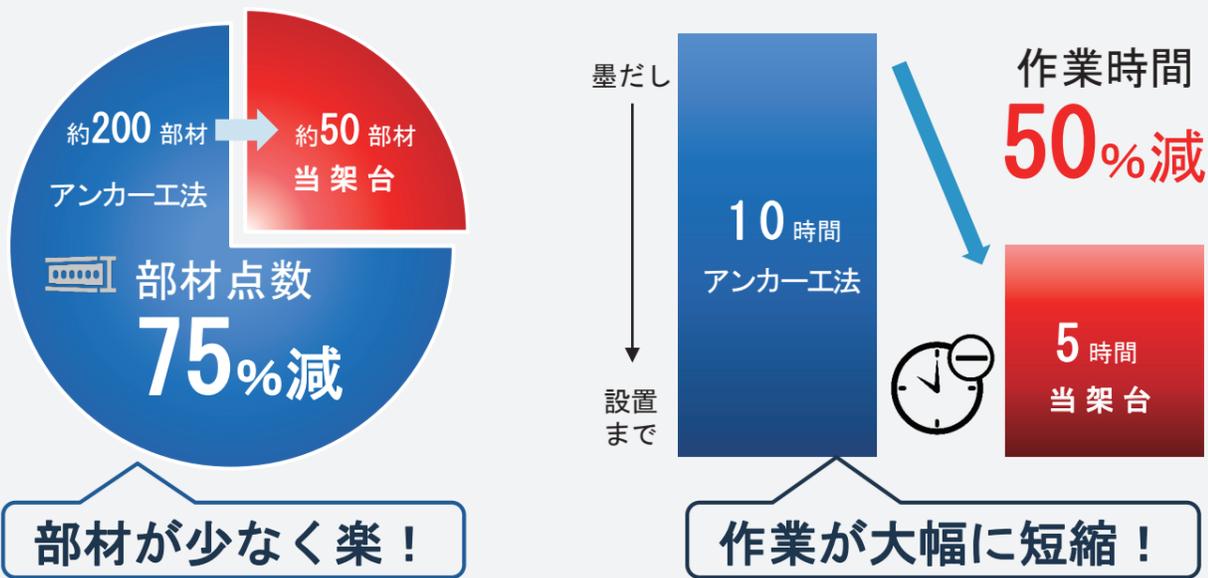


アンカー工法の架台との比較 ※4段4列施工 当社比



製品仕様/寸法

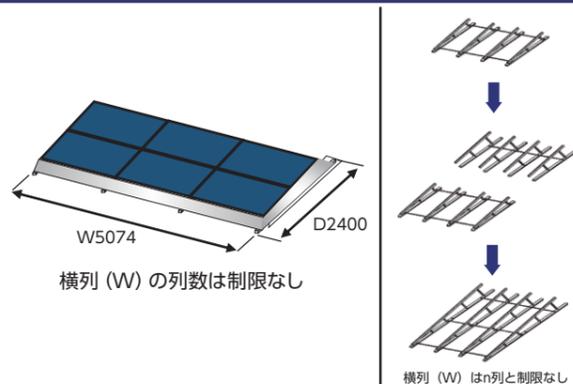
■架台基本構成 〈標準形式モジュール (W1640×D990×H40) の場合〉

単位：ミリメートル (mm)

●2段3列の場合・・・

2段汎用タイプ使用 (横列の列数は制限なし)

基本寸法	W5074×D2400×H300
自 荷 重	約48.7kg (架台、板金カバーのみ)
角 度	5度
材 質	本体・脚部/アルミニウム、板金カバー/ガルバリウム鋼板



■対応パネル (60セルモジュールのみの対応となります)

寸 法	長辺1640mm～1700mm / 短辺990mm～1003mm / パネル厚30～50mm
-----	--

※設置をご検討されているモジュールが対応外の場合でも、ぜひ一度お問い合わせください。

※現行品の色について
板金の色はガルバリウム
鋼板の「素地」の色
(シルバー) となります。
色はシルバー

株式会社 横浜環境デザイン

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-18-20
パシフィックマークス新横浜1F(受付)・6F・10F
TEL 045-534-6468 FAX 045-534-6467

☎ 0120-048-808

受付時間 10:00～18:00 (年末年始を除く)

<https://ykd.co.jp/>

●本製品は積雪地域および塩害地域では基本的にはご使用いただくことはできません。(耐雪荷重設計：～50cm) ●設置場所の防水仕様によって補償対象外の場合があります。詳しくはお問合せください。
●本カタログ記載内容の無断転載を禁じます。●本製品の仕様ならびにデザインは機能改善・追加のため予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

※パンフレット掲載内容2019年12月現在

あきらめていた、陸屋根に・・・



基礎
アンカー
不要

アンカーレス架台

特許取得済 特許第6219450号

こんな
問題の
解決に



屋上に重い物
を載せられない



防水層に穴を
あけられない



高所なので、
飛ばないか心配

- POINT 1 重さは従来施工の1/3以下
- POINT 2 アンカー不要で、雨漏り無し
- POINT 3 風で飛ばない特殊構造採用

建物に優しい架台で解決

荷重 **不可** 重い基礎が必要
荷重に耐えられない

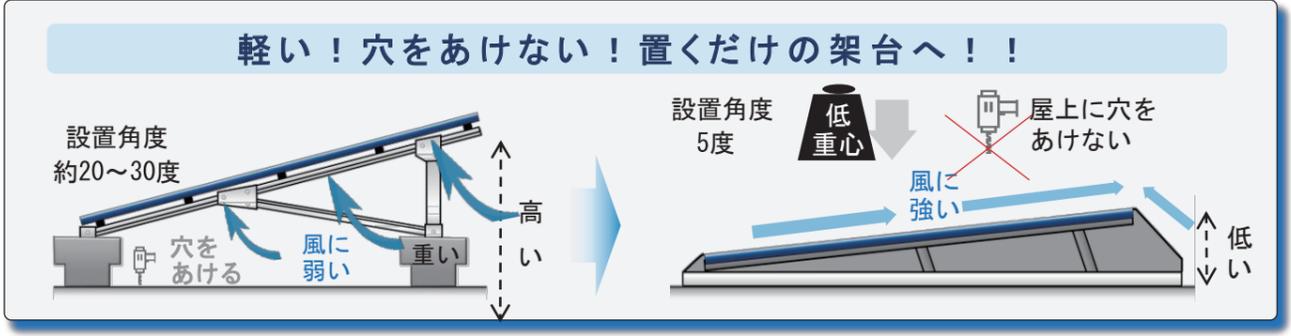
雨漏 **不可** 屋上に穴をあける
雨漏りのリスクがある

風圧 **不可** 強風の影響がある
飛ばされないか心配

POINT 1 基礎不要
基礎不要で、今まで荷重の問題で設置出来なかった屋上に設置可能となりました。重量は従来比1/3以下です。

POINT 2 アンカー不要
アンカーで防水層に穴をあけず、建物を傷付けません。穴あけが起因の「雨漏り」の心配がなくなりました。

POINT 3 特殊構造
重心が低く、風を受け流し、自重で架台を押さえる構造です。一定の高さ以下であれば飛散の心配は不要です。



工期が劇的に短縮「施工手順」



施工前には設置面の劣化等、異常の有無を確認



縦ラック、横材の順に並べ固定後、延長ケーブルを引く



パネルを順番に固定していく



パネル設置後、PV押え金具で、固定する



前後面、側面に板金スカートを取り付ける



STEP 6 完成

主な特徴について

従来の工法	工法の要素	アンカーレス架台
約50kg/m ² (パネル含む)	荷重/m ²	約15kg/m ² (パネル含む)
アンカーが必要	アンカーの要否	アンカー不要
漏水の恐れあり (穴をあける)	漏水	漏水の危険が無い (穴をあけない)
約2日 (電気工事含まず)	工期 (10kW分設置)	約1日 (電気工事含まず)
一般的にクレーン等が必要	搬入	エレベーターによる搬入可能
問題となる (約20~30度設置)	反射光 (光害)	影響無し (約5度設置)
景観条例に抵触 (京都市など)	景観条例	景観条例の対象外

自家消費や屋根貸し等の屋上設置に！

高さ31mまで設置OK ※設置条件有り

風速36m/sまでOK! ※地表面粗度区分Ⅲ

アンカーレス架台の信頼性

特許取得済



風洞実験実証済 基礎無しアンカー無しで実証

風洞実験施設での耐圧試験強度を実施。前、後、両側面の4方向から20m/sから5m/s毎連続3分間継続的に当て続け検証。結果55m/sまで1mmの微動もなく完了。

※風速30m/s: 特急列車並のスピード、車が横転する可能性有り 風速40m/s: 体を45度に傾かないと立てない状態



全国規模の豊富な設置実績

